

中山間だより Vol.23



そばづくり体験（山田町 白石集落農業生産組合）

1 平成30年度「いわて中山間賞」受賞団体を紹介します

平成31年1月8日に盛岡市内で開催された「平成30年度いわて農林水産躍進大会」において、今年度の「いわて中山間賞」が、達増拓也岩手県知事から3団体に授与されました。受賞団体は、地域ぐるみで農地の保全や環境整備、地域資源の活用による交流拡大などに取り組んでいます。

受賞団体の活動内容については、2～4ページで紹介しています。

「いわて中山間賞」受賞者



左から、大野区2名、千厩町大平集落1名、白石集落農業生産組合2名

「一日市場」の様子



「いわて中山間賞」受賞団体

- 大野区（西和賀町）
- 千厩町大平集落（一関市）
- 白石集落農業生産組合（山田町）

また、躍進大会の会場前では、中山間地域等直接支払制度を活用して農産物の加工販売に取り組む方々による「一日市場」が開催されました。

今年度は2団体が出店し、ケーキや漬け物、どぶろくなどが販売されました。

多くの来場者の方々が、出店者から商品の説明を聞いたり、買い求めたりと大盛況でした。

「一日市場」出店団体と販売商品

- 鳴瀬振興組合（奥州市）
…ケーキ、漬け物、江刺りんご
- （農）宮守川上流生産組合（遠野市）
…どぶろく、フルーツジュース

おお の
大野区（西和賀町）

- 団体の概要
 - ・ 西和賀町の中央部・沢内盆地に位置します。
 - ・ 構成人数は140人（うち農業者81人）です。
- 農用地の状況
 - ・ 農用地面積は94.2ha（うち田89.1ha、畑5.1ha）です。
 - ・ そばや大豆、わらびなど様々な農作物を作付けするほか、休耕田を整備してビオトープとして活用しています。

取組のポイント

- ・ 大野再生&活性化計画を策定し、「安心して暮らせる大野」、「希望を持って暮らせる大野」を目指して活動しています。
- ・ 中山間地域等直接支払制度を活用し、耕作放棄地の解消や、共同で利用する農業機械の購入などの取組を進めています。
- ・ 企業と連携してそばの高付加価値化に取り組むほか、地域の料理人の指導を受け、郷土料理のレシピ化を進めています。
- ・ 国際ボランティアNGO“NICE”が企画する国際ワークキャンプや企業研修を受け入れ、雪あかりのイベントや農作業体験などを通じた地域活性化・地域の魅力発信に取り組んでいます。



耕作放棄地を活用した大豆栽培



そばもち等の料理



NICEと保育園児の交流



企業研修での雪あかりの開催準備

おおだいら
千厩町大平集落（一関市）

- 集落の概要
 - ・ 一関市千厩町の北東部に位置します。
 - ・ 構成員は84人（全員が農業者）です。
- 農用地の状況
 - ・ 農用地面積は72.9ha（すべて田）です。
 - ・ 水稻を基幹として、野菜及び畜産との複合経営となっています。

取組のポイント

- ・ 3つの専門部（土地改良施設部、法面点検部、共同機械部）を設置して安定した農業生産活動を展開しています。
- ・ 中山間地域等直接支払制度を活用し、耕作放棄地へのそばの作付けや花壇の整備による景観形成、ため池の危険啓発看板の設置などの環境整備に取り組んでいます。
- ・ そばまつりを開催し、集落の訪問者へ「ざるそば」等を販売するなど、地域のにぎわい創出や集落内の連携強化につなげています。
- ・ 集落内で生産された大豆を、女性グループが味噌に加工しており、高付加価値化による農家所得の向上を目指しています。



そばの栽培風景



集落で整備した花壇



ため池の危険啓発看板の設置



「新そばまつり」での交流

しろいし

白石集落農業生産組合（山田町）

- 組合の概要
 - ・ 山田町南部の織笠地区に位置します。
 - ・ 構成人数は16人（うち農業者13人）です。
- 農用地の状況
 - ・ 農用地面積は3.1ha（すべて田）です。
 - ・ 水稲とそばを基幹として生産を行っています。

取組のポイント

- ・ 水車小屋の再建を契機に、生産された米やそばを製粉し、団子や餅に加工するなど高付加価値化に取り組んでいます。
- ・ 「アカモク入りそば」を開発し、白石水車まつりで提供するほか、今後は、農家レストランでの販売も予定しています。
- ・ そば打ちや農業体験を希望する方々を受け入れ、食や農業への関心を高める活動を実施しています。
- ・ 生産組合の愛称を、水車の音にちなんで「ごっとな会」としたほか、組合のロゴマークを作成し、のぼり旗などに使用してPRするなど、にぎわいを創出するためのツールとして活用しています。



再建した水車小屋



そば打ち体験



地元の小学生による田植え体験



「ごっとな会」のロゴマーク

2 中山間地域等直接支払交付金を適正に活用しましょう

(1) 共同取組活動費

共同取組活動費は、地域の実態に応じ、自律的・継続的な農業生産活動等の体制整備に資する目的に対して、支出することとされています。

その際には、以下の点について注意してください。

① 協定参加者全員の合意の下で支出すること

一部の協定参加者だけで用途や配分割合を決めず、協定参加者の皆さんで話し合い、決定してください。

② 協定参加者全員が参加して行う活動に支出すること

耕作放棄の発生防止活動や水路・農道等の管理活動は、協定参加者全員で協力して行いましょう。

※ 実施時期にずれがある場合や、一部の人が実施してその他の人が支援するという活動にも、支出可能です

共同取組活動費の活用例

- ・ 水路や農道等の維持管理、出役費
- ・ 農業機械、施設整備の資金
- ・ 簡易な基盤整備
- ・ オペレーター賃金
- ・ 集落で運営する直売所の運営経費
- ・ オペレーターの講習会参加経費
- ・ 特産物や景観作物導入に係る種苗費 など



用水路の泥上げ作業

(2) 積立・繰越

交付金は原則、交付年度において執行することとされています。

積立・繰越をする場合は、その**目的、積立計画・用途計画を明らかにし、適正に執行**してください。

- ・ **積立**は、将来における特定の支出に備え、複数年度にわたり交付金を取り置くもの。
- ・ **繰越**は、交付年度末までに支出できなかった残額を次年度会計に組み入れるもの。
やむを得ない理由により、その年度に計画した活動の実施が困難となった場合や、災害復旧に備える費用を見込んで繰り越し、同年度内に執行すること。

3 中山間地域における先進的な活動事例を紹介します

県内の中山間地域において、生産条件が不利な環境の下でも、創意工夫を凝らしながら、農作業の省力化や効率的な農地管理・農業生産に取り組まれている先進的な地域の活動事例を紹介します。

農業生産活動等の維持・継続に向けた、地域の新たな取組の参考にしてください。

しばさわ

柴沢美しい自然を守る会（盛岡市）

～ イブキジャコウソウの活用による草刈りの軽労化 ～

- 草刈り作業の省力化を目的に、シソ科の植物「イブキジャコウソウ」を法面に定植しました。定植の翌年に全面が被覆され、雑草の発生を抑えます。
- イブキジャコウソウの花はピンク色で、景観作物の機能も有しています。



法面への植栽作業

すかわ

須川営農組合集落協定（一関市）

～ 土地改良区と連携した広域的な農用地の維持管理 ～

- 協定の事務を須川土地改良区が担うとともに、地域全体で農地や水路・農道を維持管理する体制を構築しています。
- 多面的機能支払交付金にも取り組み、事務の委託料を確保しています。



維持・管理された協定農用地

まよおか みやもりがわ

中山間迷岡・宮守川上流集落協定（遠野市）

～ 農事組合法人と連携した農用地管理・6次産業化 ～

- 農業生産活動を継続するため、（農）宮守川上流生産組合へ農用地を集積するとともに、農業機械の共同利用等により、生産の効率化を進めています。
- 農産物をジュースやジャム、どぶろくに加工し、直売所等で販売しています。

※ 本誌の1ページにも、販売の様子を掲載しています



法人による農作業

発行

岩手県農林水産部農業振興課

〒020-8570 盛岡市内丸10番1号

TEL : 019-629-5647 (直通) FAX : 019-629-5649